

令和8年5月25日  
第10回教育委員会定例会資料  
教 育 部

「教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価」事務局（案）

# 目 次

令和8年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について	1
令和7年度分 教育委員会活動・施策一覧	3
点検・評価の見方	4
<b>I 教育委員会活動の点検・評価</b>	7
1 教育委員会の研鑽・視察に関すること	8
<b>II 教育委員会施策の点検・評価</b>	11
＜第4次学校教育振興基本計画(第4次特別支援教育実施計画)＞	
1 学力・体力の向上(1)	12
1 学力・体力の向上(2)	14
2 豊かな心を育む教育の推進	16
3 円滑な教育活動の推進	18
4 教職員の適正配置と環境整備	20
5 連続性のある多様な学びの場と支援の充実	22
6 学校における指導の充実	24
7 相談・連携体制の充実	26
<b>III 参考資料</b>	29
1 教育委員会活動の実績について	30

## 令和8年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について

### 1 趣旨

市民一人ひとりが自分のよさや可能性を見だし、幸せや生きがいを感じられ、誰もが違いを乗り越え共に生きる社会の実現を目指すとともに、生涯にわたり誰一人取り残さない教育行政を推進していくことをめざした「教育目標」の実現に向け、本市教育委員会は積極的な教育行政を展開しているところです。

そして、今後も市民の信頼に応えることのできる教育を継続的に展開していくためには、教育行政が的確かつ有効に執行されているか、評価し検証していくことが必要です。

また、平成20年4月には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検・評価すること」が義務付けられています。

以上のことから、教育委員会が自ら教育行政についての点検・評価を行い、その結果を市議会や市民に報告することにより、開かれた行政と効果的な教育行政の一層の推進を図ります。

### 2 対象

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(以下「教育委員会点検・評価」という。)の対象は、次の(1)及び(2)とします。

#### (1)教育委員会活動について

教育委員会の研鑽・視察に関する1活動について点検・評価します。

#### (2)教育委員会施策について

令和7年度に策定した教育委員会所管の個別計画(第4次学校教育振興基本計画、第4次特別支援教育実施計画、第7次生涯学習推進計画、第4次図書館基本計画、第5次子ども読書活動推進計画)に掲げられている23施策について点検・評価します。

### 3 実施方法

(1)令和7年度(以下「評価対象年度」という。)の活動と施策を対象とします。

(2)評価対象年度における結果と課題を総括するとともに、次年度の施策の方向性を示すこととします。

(3)点検・評価にあたっては、教育委員会点検・評価外部員(以下「点検評価外部員」。)との意見交換会を実施し、意見を聴取します。点検評価外部員は学識経験を有する者から、教育委員会活動及び学校教育・生涯学習・図書館の分野ごとにふさわしい者を教育委員会が委嘱します。

(4)点検評価外部員の意見を受け、教育委員会点検・評価を決定します。

(5)教育委員会点検・評価については、市議会(文教委員会)へ報告するとともに、市ホームページなどでも公表します。

#### 4 流れ

(1)担当課が事務局(案)を作成します。



(2)担当課の事務局(案)を教育委員会に提出します。



(3)担当課の事務局(案)について、教育委員会で協議を行います。



(4)協議の結果を教育委員会点検・評価(案)としてとりまとめます。



(5)教育委員会点検・評価(案)を点検評価外部員に提出し、意見交換会を行います。



(6)点検評価外部員は、意見交換会を踏まえ教育委員会点検・評価(案)に対し意見を付します。



(7)点検評価外部員の意見を踏まえ、教育委員会が教育委員会点検・評価を決定します。



(8)決定した教育委員会点検・評価を市議会へ報告します。(令和8年第3回市議会 文教委員会)

#### 5 評価の基準

各活動及び施策の達成目標に対して、下表に示す4区分により達成度を評価します。

評 価		評 価 基 準
S	目標水準を超えて達成している	○特筆した取組を行い、他の施策にも大きな影響を与えた。 ○活動及び施策の目標を達成し顕著な成果をあげた。 ○子どもや利用者等に多大な利益をもたらした。
A	目標水準を達成している	○効果的な取組を行った。 ○活動及び施策の目標を達成し結果を出した。
B	目標水準の達成に向け一部課題がある	○一定の取組を行った。 ○活動及び施策の目標達成に向けて一定の結果を出したが、一部課題も残った。
C	目標水準の達成に向け困難な課題がある	○取組が不十分であった。又は取組をしなかった。 ○活動及び施策の目標達成に向けて結果が出ておらず、大きな課題や問題点が残った。

#### 6 令和8年度評価(令和7年度分)の変更点

(1)評価対象となる活動・施策の見直し

令和7年度に策定した教育委員会の分野別個別計画(「第4次学校教育振興基本計画」、「第4次特別支援教育実施計画」、「第7次生涯学習推進計画」、「第4次図書館基本計画」、「第5次子ども読書活動推進計画」)において、施策体系を変更したことなどから、評価体系もあわせて見直しを行いました。

(2)見やすく、分かりやすく、評価しやすきの取組

目標達成に向け取組んだ“結果”(目標を達成したか、しなかったのか)をより明確化し、見やすく、分かりやすく、より評価しやすくするため、箇条書きでの標記とすることや「達成目標」から「課題」まで一連の流れが分かる記載に努めることなど、点検・評価表を一部変更しました。

令和7年度分 教育委員会活動・施策一覧

活動・個別計画	番号	活動・施策	統括課
教育委員会活動	1	教育委員会の研鑽・視察に関すること	教育総務課
第4次学校教育振興基本計画	1	学力・体力の向上	指導課
	2	豊かな心を育む教育の推進	
	3	円滑な教育活動の推進	
	4	教職員の適正配置と環境整備	
	5	連続性のある多様な学びの場と支援の充実	教育支援課
	6	学校における指導の充実	
	7	相談・連携体制の充実	
第4次特別支援教育実施計画	8	教育環境の整備	学務課
	9	就学の機会と安全・安心の確保	
	10	児童・生徒の保健衛生の推進	
	11	学校給食事業の適切な運営	学校給食課
	12	安全・安心な給食の提供と食育の充実	
	13	総合的な教育行政の企画と推進	教育総務課
14	学校施設環境の維持管理と充実		
第7次生涯学習推進計画	15	いつでも、だれでも学べる身近な学習環境の整備	生涯学習推進センター
	16	学びの裾野を広げる学習情報・学習施設の活用	
	17	立川のまちを知り、育てる学びの推進	
	18	社会教育人材の育成とネットワーク	
第4次図書館基本計画	19	図書館サービスの充実	図書館
	20	子どもの読書環境の充実	
第5次子ども読書活動推進計画	21	情報収集と課題解決支援の充実	
	22	多様な利用者の読書機会の確保	
	23	図書館施設・機能の充実	

## 点検・評価の見方

<第4次学校教育振興基本計画>			
施策	○(番号)	○○○○○○○○○	担当課 ○○課
<b>1 目的</b>			
目的	計 (原) 計画期間における施策の「目的」を記載しています		
<b>2 当該年度の達成目標</b>			
達成目標	「達成目標」を具体的に記載しています		
<b>3 取組状況と結果と課題</b>			
取組状況	「取組状況」を具体的に記載しています		
結果	取組んだ「結果」を具体的に記載しています		
課題	結果を踏まえた「課題」を具体的に記載しています		
<b>4 評価</b>			
評価	B	評価理由	参考
		① 達成目標に対する取組内容や結果による評価 ② 指標の達成状況(右ページ)による評価 →①と②に基づく「総合評価」を記載しています。	7 8 9 10 11 年度 年度 年度 年度 年度 B
<b>5 次年度の方向性</b>			
次年度の方向性	評価を踏まえた「次年度の方向性」を具体的に記載しています		

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度	計画 目標値 (R11年度)
運動やスポーツをすることが好きと回答した児童・生徒の割合(①)1/6	①85.8%	①91.2%	①87.5%

評価の参考となる指標を  
経年で記載しています

「基準値(R5年度)」「計画目標値(R11年度)」は、  
立川市第5次長期総合計画・前期基本計画で定め  
た数値を記載しています。  
なお、施策により当該計画と異なる指標を設定す  
る場合があります。

学校名	取組の名称	
第一小学校	体力アップ取組	
第二小学校	音楽運動	2学期の前半の体育授業の前半に音楽を取り入れた音楽運動を実施する。
第三小学校	三小ダンス	運動委員が三小ダンス、ストレッチなど取組でもできる運動を動画で作成。各学年で視聴し、体育の授業で行う。
第四小学校	四小ストレッチ	4月の体育のストレッチ運動を通して、ストレッチ運動の正しい行い方を身に付ける。年間を通して体育科の時間にも取り入れている。運動会でも取り入れて行う。
第五小学校	なわとび取組	全校で統一したなわとびカードを実施し、運動の場には体育科の授業時間の一部を使ってなわとびの技に挑戦する。
第六小学校	体操委員会	運動会に行けてラジオ体操とつながりとしたストレッチ運動に取り組むことで、自己の体の可動域や柔軟性を高めることで自分の身体の状況を確認する。
第七小学校	なわとび(男・女)	2学期(男・女) 体育授業で運動指導を初め、全校で取り組む。 3学期(男・女) 日の学習が終わりにあわせて、3分間で決めた回数を実施する。
立川第一中学校		
立川第二中学校		
立川第三中学校		
立川第四中学校		
立川第五中学校	音楽授業連携 トレーニング	ランニング、コーディネーショントレーニングを取り入れ、補強運動を充実させる。
立川第六中学校	補強運動	体育の授業において、種目に応じた補強運動等に取り組む。
立川第七中学校	コーディネーション トレーニング	コーディネーショントレーニングによる生徒の基礎体力の向上と調整力の向上、両立て・負荷・課題・意識が軸を行う。
立川第八中学校	補強運動	体育授業における補強運動(両立て、腹筋、スクワット)を実施する。 またに合わせた補強運動の導入、授業大森(3月)を実施する。
立川第九中学校	補強運動	体育授業時には最先に合わせた体操と生徒の体力調整における補強運動(ファンクショナルトレーニング)を実施する。

令和7年度の実績を記載しています

②地域プロスポーツによる出前授業・講演会

団体名	実施校数	参加児童生徒数
立川アスレティックFC	11校	1041人
立川ダイス	12校	660人



# I 教育委員会活動

## 教育委員会活動の点検・評価表

活動	1	教育委員会の研鑽・視察に関すること	担当課	教育総務課
----	---	-------------------	-----	-------

### 1 目的

目的	適切な教育行政を執行するために、地域の教育の実情や行政課題をよりの確に把握するとともに、数多くの知見の集積や先進事例の研究等を行うことを目的とします。
----	---

### 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会独自の研修会を2回実施するとともに、東京都市町村教育委員会連合会の研修等へ参加し、教育委員として知見を深めるための取組を行います。</li> <li>・小学校6校、中学校4校へ学校訪問するとともに、教育関連施設等への視察を実施します。</li> </ul>
------	---

### 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立川市の歴史や文化をテーマにした教育委員会独自の研修会を企画・実施するとともに、東京都市町村教育委員会連合会が主催する研修等へ参加しました。</li> <li>・「東京都立立川緑高等学校」や「立川市子育て支援・保健センター はぐくるりん」への視察を行いました。</li> <li>・小学校6校、中学校4校へ学校訪問するとともに、道徳授業地区公開講座や運動会、学芸会等の学校行事へ参加しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会独自の研修会を2回実施するとともに、その他の研修等へ積極的に参加したことで、学校教育分野や社会教育分野での知見を深めました。</li> <li>・学校訪問を実施することで、学力向上や不登校対策等への取組や各学校の課題等について把握するとともに意見交換を行うことができました。</li> <li>・研究発表会、道徳授業地区公開講座、運動会等の学校行事への参加により、各学校の状況を把握し、学校との連携強化につながりました。</li> </ul>
課題	引き続き、多様な現場の状況を的確に把握し、本市の教育課題に沿った研修等を実施することが必要です。

### 4 評価

評価	A	評価理由	目標とした2回の研修会を実施することで、学校教育分野に限らず社会教育分野に関する知見を深めることができました。また、学校訪問により各学校の状況把握や意見交換等を実施したことで、学校との更なる連携強化につながりました。以上のことから目標水準を達成しているため、A評価としました。	参考										
				<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">7 年度</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">8 年度</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">9 年度</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">10 年度</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">11 年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	A				
7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度										
A														

### 5 次年度の方向性

次年度の方向性	多様化する教育課題に対応できる幅広い視点等を身に付けられるよう、学校教育分野に限らず社会教育分野における教育委員会独自の研修会を充実させるとともに、先進事例の研究や外部機関の研修等の活用も含めた研鑽に取り組み、教育委員会の基本方針や基本施策に反映していきます。
---------	--

■指標

指標	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)
教育委員会研修会の実施回数	2回	2回

■令和7年度実績

教育委員会研修会

実施日	内容	
令和7年9月25日(木)	【テーマ】	戦争体験を継承する意味 - 学校教育が果たす役割とは -
	【講師】	立川市生涯学習推進審議会副会長 檜崎茂彌氏
令和8年2月3日(火)	【テーマ】	立川市における文化財保護に関する現状と課題
	【講師】	立川市文化財保護審議会会長・神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科特任教授 白川重敏氏



教育委員会研修会  
「立川市における文化財保護に関する現状と課題」



視察(東京都立立川緑高等学校)



視察(立川市子育て支援・保健センター はぐくるりん)



学校訪問(第一小学校)

視察(教育施設等)

実施日	場所
令和7年7月2日(水)	東京都立立川緑高等学校
令和7年8月7日(木)	立川市子育て支援・保健センター はぐくるりん

教育委員学校訪問

実施日	対象校
令和7年6月17日(火)	立川第七中学校
令和7年6月25日(水)	西砂小学校
令和7年7月7日(月)	第七小学校
令和7年9月8日(月)	立川第八中学校
令和7年10月9日(木)	立川第一中学校
令和7年11月5日(水)	上砂川小学校
令和7年12月8日(月)	第一小学校
令和8年1月19日(月)	第八小学校
令和8年2月6日(金)	第六小学校



学校訪問(立川第七中学校)

その他の研修等

実施日	内容
令和7年4月24日(木)	教育施策連絡協議会(オンデマンド配信)
	【テーマ】 教育のイノベーション - デジタルとリアルの融合で教育の未来を変える -
令和7年7月31日(水)	東京都市教育長会研修会
	【テーマ】 「チーム・藤原道長家」の力 - 『源氏物語』はどのように作られ、読まれたのか -
令和8年2月27日(金)	東京都市町村教育委員会連合会第2回研修会(オンライン)
	【テーマ】 教育に科学的根拠を



## Ⅱ 教育委員会施策の点検・評価

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	1	学力・体力の向上(1)	担当課	指導課
----	---	-------------	-----	-----

## 1 目的

目的	児童・生徒一人ひとりの学習の進度や興味・関心、発達段階等に応じた学びを実現するとともに、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進します。
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数・習熟度別指導及び小学校教科担任制等の取組や全国学力学習状況調査の結果分析を通じて、学校の授業改善を進めます。</li> <li>・教員の研修・研究の充実により学校の教育力の向上を図り、児童・生徒の学力の向上を目指します。</li> </ul>
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数・数学科や外国語において、少人数・習熟度別指導を実施し、児童・生徒の習熟の程度に応じたきめ細かい学習指導を行いました。</li> <li>・外国語学習に対する意欲を高め、英語力とコミュニケーション能力の育成を図るために、TGG (Tokyo Global Gateway)を活用した体験型学習を全小・中学校で実施しました。</li> <li>・立川市教育委員会や各学校の教育目標の実現に向け、各学校が研究テーマを設定し、校内研究を推進しました。</li> <li>・児童・生徒一人ひとりの実態に即した授業の実施に向けて、全小・中学校において、授業改善推進プランを作成し、授業改善を推進しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査では、全国の平均正答率に対する達成率が、小・中学校ともに100%を超えるとともに、前年度の達成率を上回りました。</li> <li>・少人数・習熟度別授業の実施や小学校教科担任制の推進、校内研究・研修の充実等により、学校評価では、「授業がよく分かり、楽しい」に対する児童・生徒の肯定的回答が85.0%、「分かりやすい授業を行っている」に対する保護者の肯定的回答が81.0%でありました。</li> </ul>
課題	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を一層推進するための教員研修の改善・充実を図り、全小・中学校に還元できるようにする必要があります。

## 4 評価

評価	B	評価理由	算数・数学科や外国語科においての少人数・習熟度別指導の実施や加配教員を活用した教科担任制(東京方式)を小学校5校に拡充する等、児童・生徒の習熟度に応じたきめ細かな学習指導体制を整備しました。	参考				
			全国学力・学習状況調査の平均正答率を100とした時の達成率は小6、中3いずれも100を超えているが、一部で当初目標値を下回っていることから、B評価としました。	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の質の向上を図るため、「主体的で対話的で深い学び」の実現に向けた教員研修を実施します。</li> <li>・児童・生徒一人ひとりの学習状況等を把握し、誰一人取り残さない個に応じた指導の充実を図るため、国の学力調査等の結果を分析するとともに、AIドリルの活用を行います。〔重点〕</li> </ul>
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
全国学力・学習状況調査の平均正答率を100とした時の達成率(①小6 ②中3)	①99.5% ②105.2%	①105.0% ②105.0%	①101.8% ②106.4%	①105.0% ②105.0%

■令和7年度実績

1 全国学力・学習状況調査

※細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものでないことから、正答率については小数点以下を四捨五入した結果を示す。(文部科学省方針)

(1)各教科別の平均正答率(%)

①小学校

	立川市	全国(公立)	東京都(公立)
国語	68	66.8	70
算数	59	58	64

②中学校

	立川市	全国(公立)	東京都(公立)
国語	56	54.3	57
数学	53	48.3	53

(2)学習指導要領の内容別の平均正答率(%)

※全国又は東京都の平均正答率を上回っている場合は太字表記

①小学校

国語	(公立学校)		
	立川市	全国	東京都
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	76	76.9	77.9
(2) 情報の扱い方に関する事項	<b>64.5</b>	63.1	66.9
(3) 我が国の言語文化に関する事項	<b>82.8</b>	81.2	83.8
A 話すこと・聞くこと	<b>69</b>	66.3	69.9
B 書くこと	<b>70.7</b>	69.5	72.4
C 読むこと	<b>57.9</b>	57.5	61

②中学校

国語	(公立学校)		
	立川市	全国	東京都
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	47.8	48.1	51.7
(2) 情報の扱い方に関する事項	-	-	-
(3) 我が国の言語文化に関する事項	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	<b>55.3</b>	53.2	55
B 書くこと	<b>55</b>	52.8	56.5
C 読むこと	<b>64.1</b>	62.3	65

算数	(公立学校)		
	立川市	全国	東京都
A 数と計算	<b>63.7</b>	62.3	68.3
B 図形	55.8	56.2	61.2
C 計測	<b>55.4</b>	54.8	60.5
C 変化と関係	<b>59.8</b>	57.5	64.9
D データの活用	<b>65</b>	62.6	67.6

数学	(公立学校)		
	立川市	全国	東京都
A 数と計算	<b>48</b>	43.5	49.1
B 図形	<b>52.2</b>	46.5	51.4
C 関数	<b>51.1</b>	48.2	52.4
D データの活用	<b>65.5</b>	58.6	63.1

2 小学校教科担任制等推進事業実施校

第四小学校、第五小学校、第七小学校、第八小学校、大山小学校(5校)

3 少人数習熟度別指導実施校

小学校(算数)	小学校全校(19校)
中学校(数学)	全校(9校)
中学校(英語)	全校(9校)



Tokyo Global Gatewayを活用した体験学習の様子

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	1	学力・体力の向上(2)	担当課	指導課
----	---	-------------	-----	-----

## 1 目的

目的	学校におけるスポーツとの多様な関わり方を含めた健康教育を推進するとともに、危険を予測し回避する能力や、社会の安全に貢献できる資質・能力を高める事業を展開します。
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の実情を踏まえた体育的活動を推進するとともに、健康に関する指導を外部講師等も活用しながら充実を図ります。</li> <li>包括連携協定を締結している大学や企業等と連携した学校2020レガシーの推進により、児童・生徒の体力向上を図ります。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を分析し、その実態を踏まえながら児童・生徒の体力向上に向けた取組を工夫して行いました。(一校一取組)</li> <li>地域プロスポーツ団体や大学と連携し、学校2020レガシーの推進を図りました。</li> <li>がん教育をはじめ、学校医等の専門的な知見を活用した健康教育について計画的に実施しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、運動やスポーツをすることが好きと回答した児童・生徒の割合が小・中学校ともに90%を超えました。</li> <li>立川アスレティックFC、立川ダイスによる選手等の学校派遣をのべ23校で実施しました。</li> <li>立川病院、災害医療センターと連携したがん教育を小学校17校、中学校7校で実施しました。</li> </ul>
課題	児童・生徒の継続的な体力向上を一層推進するため、体育科・保健体育科の授業改善及び一校一取組を充実させるため、関係団体との連携を強化していく必要があります。

## 4 評価

評価	A	評価理由	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
		体育科・保健体育科等の授業改善、各学校の特色ある取組及び地域プロスポーツによる出前授業・講演会の実施により、体育・健康教育の充実を図った結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、運動やスポーツをすることが好きと回答した児童・生徒の割合が小・中学校ともに90%を超えました。このことからA評価としました。	A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都統一体力テストの結果や日頃の児童・生徒の体力に関する実態等の分析を踏まえた体育科及び保健体育科の授業改善により、運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒を増やします。</li> <li>地域に拠点を置くプロスポーツチーム等と連携した体育授業の実施や運動部活動への支援を行うことで、専門的な知識及び技能を有する指導者等から指導を受ける機会を創出し、児童・生徒の運動への興味・関心を高め、基礎的・基本的な運動技能や、より高度な技能の向上を図ります。</li> </ul>
---------	--

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
運動やスポーツをすることが好きと回答した児童・生徒の割合(①小6 ②中3)	①85.8% ②83.3%	①87.5% ②85.0%	①91.2% ②93.3%	①87.5% ②85.0%

■令和7年度実績

①各校の主な取組(一校一取組)

学校名	取組の名称	取組の具体的内容
第一小学校	体力アップ旬間	外部企業と連携し、体力向上につながる運動のポイントを教えてもらい、家庭でも動画を用いて体力向上に取り組む。
第二小学校	業間運動	2学期の後半の時期に中休みを利用して、学年ごとに時間走を行い体力の向上を図る。
第三小学校	三小ダンス	運動委員が三小ダンス、ストレッチなど教室でもできる運動を動画で作成。各学級で視聴し、体育の授業で行う。
第四小学校	四小ストレッチ	四小独自のストレッチ運動を通して、ストレッチ運動の正しい行い方を身に付ける。年間を通して体育科の時間の最初にも取り入れている。運動会でも取り入れて行う。
第五小学校	なわとび週間	全校で統一したなわとびカードを配布し、週間の際には体育の授業時間の一部を使ってなわとびの技に挑戦する。
第六小学校	体操集会	運動会に向けてラジオ体操とゆったりとしたストレッチ運動に取り組むことで、自己の体の可動域や柔軟性を確認することで自分の身体の状況を把握する。
第七小学校	なわとび(短なわ・長なわ)	2学期:短なわ 体育委員会児童が技を紹介し、全校で取り組む。 3学期:長なわ 8の字跳びに取り組み、3分間で跳んだ回数を記録する。
第八小学校	八小ジャンプ	中休み・昼休みに短なわでリズム跳びや技に挑戦する。
第九小学校	にこにこジャンプ	集団の大なわ跳びを年間を通して、全校的に取組、体力向上を図る。
第十小学校	十輪ピック(体力作り)	中休みや昼休みに、マラソン(12月)や大なわ(2、3月)に取り組み、運動を楽しみながら体力の向上を目指す。
西砂小学校	持久走旬間	期間中の中休みや授業中に全校児童で持久走に取り組む。
南砂小学校	体育朝会	各学級ごとにわかれ、校庭で長なわ跳びに取り組む。
幸小学校	なわとび週間	立川市のなわとび検定級を基本にして休み時間に取り組む。毎学期に行う大なわ集会に向けて、各学級で目標を定めて大なわ跳びの練習に取り組む。
松中小学校	長なわ週間・長なわ大会	長なわ週間・長なわ集会で長なわの8の字とびを行う。検定カードを使った短なわ検定を実施する。
大山小学校	体力向上旬間	低・中・高学年別の持久走カードを活用し、持久走に休み時間(中休み)に取り組む。
柏小学校	柏タイム	全学級が長なわ跳びに取り組む(年間8回)。
上砂川小学校	体育委員と遊ぼうウィーク	休み時間等を利用して体育委員会が企画した活動を行う(おに遊び、的あてなど)。
新生小学校	なわとび旬間	休み時間や授業で、長なわとびカードに取り組む。
若葉台小学校	持久走旬間	2週間、中休みの時間に音楽に合わせて、自分のペースで校庭を走る。各学年決められたエリアを走り、がんばりカードに取り組む。
立川第一中学校	持久走	体育の授業において、授業始めに準備運動、トレーニング、ランニング、種目に応じた補強運動等に取り組む。
立川第二中学校	補強運動	体育の授業時に、持久力、瞬発力、柔軟性などを高めるトレーニングを実施。また、単元に応じて内容を変更する。
立川第三中学校	三中体操	三中体操(生徒が主体的に制作したオリジナル体操:監修 東京女子体育大学 秋山エリカ教授)毎時の体育授業、体育大会において実施する。
立川第四中学校	基礎体力の向上	同一歩調ランニング・ストレッチ体操・腕立て・背筋・腹筋・スクワット・補助倒立・体幹トレーニング・柔軟トレーニング、学習内容に合わせて、個に応じたからだづくりを実施する。
立川第五中学校	保健体育授業トレーニング	ランニング、コーディネーショントレーニングを取り入れ、補強運動を充実させる。
立川第六中学校	補強運動	体育の授業において、種目に応じた補強運動等に取り組む。
立川第七中学校	コーディネーショントレーニング	コーディネーショントレーニングによる生徒の基礎体力の向上と調整力の向上。腕立て・背筋・腹筋・馬跳び等を行う。
立川第八中学校	補強運動	体育授業における補強運動(腕立て、腹筋、スクワット)を実施する。 単元に合わせた補強運動の実施、球技大会(3月)を実施する。
立川第九中学校	補強運動	体育授業時には単元に合わせた体操と生徒の体力実態における補強運動(ファンクショナルトレーニング)を実施する。

②地域プロスポーツによる出前授業・講演会

団体名	実施校数	参加児童生徒数
立川アスレティックFC	11校	1,041人
立川ダイス	12校	660人

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	2	豊かな心を育む教育の推進	担当課	指導課
----	---	--------------	-----	-----

## 1 目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者を思いやり、自他の生命や人権を尊重する教育を推進します。</li> <li>・子どもたちの心身の健やかな成長に向けたサポートの充実を図ります。</li> </ul>
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援センターや「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」等の居場所づくり及びSSWや不登校対応巡回教員による不登校児童・生徒への支援を推進します。</li> <li>・学習者用端末を活用し、児童・生徒及び保護者向けに、相談窓口の周知徹底を図ります。</li> <li>・道徳授業地区公開講座を通して、市内全校における「考え、議論する道徳」の授業づくりを推進します。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援センター職員、SSW、不登校対応巡回教員が一堂に会した情報共有の会を定期的に開催しました。</li> <li>・SSWが「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」を活用して、面会が難しい不登校の児童・生徒とオンラインでつながりました。</li> <li>・児童・生徒がいつでも相談できるよう、相談窓口や相談できるWebアプリケーションについて学習者用端末のブラウザからアクセスできるようにしました。</li> <li>・道徳授業地区公開講座を市内28校全校で実施し、「考え、議論する道徳」の授業づくりを見据え、各校の学習指導案を確認し、改善に向けた指導をしました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの認知件数(令和6年度実績)は小学校で1,539件(昨年度から47減)、中学校で143件(昨年度から22増)でした。</li> <li>・不登校児童生徒数は、小学校で265人(昨年度から32増)、中学校で304人(昨年度から11減)でした。</li> <li>・市の相談窓口だけでなく、都の相談窓口も含め、学習者用端末から閲覧できるようにしました。</li> <li>・道徳授業地区公開講座及び弁護士等による「いじめ防止授業」を28校全校で実施しました。</li> </ul>
課題	<p>自他を尊重する児童・生徒を育成するために、人権教育と道徳教育を中心に据えつつ、地域や保護者ととともに、情報モラル教育やSOSの出し方に関する教育、生命の安全教育等に関する取組を推進していく必要があります。</p>

## 4 評価

評価	B	評価理由	いじめの未然防止や様々な困難を抱える児童・生徒への支援の充実を図ってまいりましたが、学校評価における毎日楽しく学校に通っている児童・生徒の割合が、児童は89.0%、生徒が88.6%で基準値は上回っているものの、一部で目標値を下回っていることから、B評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援センターの運営やバーチャル・ラーニング・プラットフォームの運用を行い、不登校児童・生徒に対して、社会的自立につながる支援を行うとともに、学校とのつながりをつくります。〔重点〕</li> <li>・学校・家庭・地域が一体となって豊かな心を育む教育を推進するため、各小・中学校において、年に1回、保護者や地域の方との意見交換会を伴う道徳授業地区公開講座を開催します。</li> <li>・弁護士等の外部講師による「いじめ防止授業」の実施や、いじめ監察課と密に連携を図ります。</li> <li>・いじめ問題を発見・予防するとともに、お互いの違いを認め尊重し合うことができる学校づくりのため、2回の心理調査の実施及び結果分析に係る研修を1回実施します。</li> </ul>
---------	--

## ■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
毎日楽しく学校に通っている児童・生徒の割合(①小学生 ②中学生)	①87.8% ②84.9%	①90.0% ②87.0%	①89.0% ②88.6%	①90.0% ②87.0%

## ■令和7年度実績

①いじめ認知件数 ※調査中又は公表前の場合は斜線

		年度	R5	R6	R7
いじめ認知件数 (件)	小		1,586	1,539	/
	中		121	143	

②不登校児童生徒数等 ※調査中又は公表前の場合は斜線

		年度	R5	R6	R7
不登校児童生徒数 (人)	小		233	265	/
	中		315	304	
教育支援センター 登録者数(人)	小		20	25	/
	中		57	65	
指導の結果登校する又はできる ようになった児童・生徒数(人)※	小		71	127	/
	中		61	102	

※「指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒数」とは、不登校児童生徒に対する学校等の指導により、個々の状況に応じて、継続的に登校できるようになった児童生徒のこと

③「SOSの出し方に関する教育」の授業の様子(市内小学校) ※画像は一部加工



④いじめ防止授業

実施校数	内容
28校	いじめと「人権」の関係、いじめの四層構造など

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	3	円滑な教育活動の推進	担当課	指導課
----	---	------------	-----	-----

## 1 目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な背景をもち、様々な困難を抱える児童・生徒に対し、多面的な支援を行います。</li> <li>・地域や事業者と連携して、教育環境等の整備を図ります。</li> <li>・学校教育を通じてよりよい社会を作るために、地域人材や物的資源を活用して、学校・家庭・地域が連携した教育を推進し、地域全体で子どもたちの成長を支えます。</li> </ul>
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校部活動の地域連携・地域展開を進めます。</li> <li>・民間等屋内プール施設を活用した小学校水泳授業の拡充を検討・調整します。</li> </ul>
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校部活動の地域連携・地域展開を進めるため、「立川市立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する検討委員会」を2回開催しました。</li> <li>・中学校部活動の地域連携・地域展開を進めるため、関係部署と市内団体との連携についての意見交換等を2回実施しました。</li> <li>・民間等屋内プール施設を活用した小学校水泳授業について、6校で実施しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「立川市立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する検討委員会」では、休日の部活動を実施するにあたり、研修や謝礼等、支援の体制を整えるなどの意見をいただきました。</li> <li>・関係部署との意見交換等の中で、市内の様々な団体との連携・展開についての課題の共有を図ることができました。</li> <li>・民間等屋内プール施設を活用した小学校水泳授業について、6校において実施しました。児童の泳力向上を図ることはもとより、教員の働き方改革の一層の推進という効果もありました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日の中学校部活動について、連携・展開する地域認定クラブの確保について課題があります。</li> <li>・民間等屋内プール施設を活用した小学校水泳授業について、一部の施設で水泳授業を実施することができず、他の施設において実施しました。施設が使用できない場合も鑑みながら、民間等屋内プール施設を活用した水泳授業を進める必要があります。</li> </ul>

## 4 評価

評価	B	評価理由	<p>中学校部活動地域展開等においては、令和8年度改訂予定の「立川市立中学校部活動の地域連携・地域展開に関する推進計画」改訂版素案を、委員会において検討を進めました。</p> <p>また、水泳委託については、一部の学校において、施設及び日程を変更することになりましたが、連絡・調整及び契約手続き等を円滑に行い、小学校6校において実施することができましたが、指標の一部で目標値を下回ったため、B評価としました。</p>	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校9校において民間等屋内プール施設を活用した水泳授業を実施します。</li> <li>・段階的な休日部活動の地域展開等に向け、「立川市立中学校部活動の地域連携・地域展開に関する推進計画」に基づき、取組を着実に進展させます。</li> </ul>
---------	--

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
保護者や地域との連携による学校経営を行っている と回答した保護者の割合 (①小学校 ②中学校)	①83.5% ②78.4%	①85.0% ②80.0%	①85.6% ②75.6%	①85.0% ②80.0%

■令和7年度実績

学校支援員

配置校数	人数	延べ活動時間数
28校	138人	37,497時間

※人数は学校ごとの人数

通訳協力員

派遣校数	人数	延べ活動時間数	主な言語
19校	33人	6,565時間	英語・中国語、ベトナム語、ネパール語

※人数は学校ごとの人数

部活動指導員

活動校数	人数	延べ活動時間数	主な部活動
9校	68人	4,644時間	吹奏楽部

※人数は学校ごとの人数

外部指導員

活動校数	人数	延べ活動時間数	主な部活動
9校	85人	9,718時間	吹奏楽部

※人数は学校ごとの人数

民間施設等プール水泳授業実施校

実施校数	学校名	実施回数
6校	第二小学校、第六小学校、西砂小学校、松中小学校、大山小学校、上砂川小学校	195回

# 教育委員会施策の点検・評価表

<第4次学校教育振興基本計画>

施策	4	教職員の適正配置と環境整備	担当課	指導課
----	---	---------------	-----	-----

## 1 目的

目的	教職員を適正に配置することにより、誰一人取り残さない、多様な人々が共に生きる社会の実現に向けた学校教育を推進します。
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	教員の心身の健康保持の実現と教員が誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整えるため、在校等時間の見える化や人員体制の強化、外部人材の配置拡充を進めます。
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在校等時間の見える化をより一層進めるため、勤怠管理システムを導入するための準備作業に取り組みました。</li> <li>・加配教員を活用した効果的な学校経営を推進するため、小学校における高学年教科担任制を推進しました。</li> <li>・スクール・サポート・スタッフや副校長補佐の継続配置、エデュケーション・アシスタントの通年配置を実施するなど、外部人材の配置拡充を行いました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤怠管理システムを令和8年度から導入するための準備が整いました。</li> <li>・加配教員を活用した小学校における高学年教科担任制推進校を1校増やすことができました。</li> <li>・スクール・サポート・スタッフや副校長補佐、エデュケーション・アシスタント等の外部人材を効果的に配置することができました。</li> </ul>
課題	副校長や教員の負担軽減を図るための取組を行っているものの、依然として長時間勤務を行う教員は多い現状があります。

## 4 評価

評価	B	評価理由	各種支援員等の活用により教員の働き方改革は進んできているものの、依然として月に45時間以上の時間外在校等時間の教員が(未確定)%います。目標水準の達成に向け一部課題があり、これまでの取組をさらに充実させることも必要と考えられるため、B評価としました。	参考				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
				B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の学びの環境を支えるため、東京都教育委員会と連携を図り、公募制度等も活用し、教員の資質・能力、適性等を生かした適材適所の教員配置を行います。</li> <li>・タブレットPCの活用方法の共有や勤怠管理システムを活用した教職員の勤務状況の把握など教職員の働き方に関する環境や意識を変革し、学校教育の質の維持向上を目指します。〔重点〕</li> </ul>
---------	--

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
時間外在校等時間が1か月あたり45時間超の教員	64%	0%	〇〇%	0%

■令和7年度実績

加配教員の配置

加配名	学校数
指導方法工夫改善加配	28校
小学校教科担任制加配	5校
小学校英語専科指導加配	2校
不登校対応巡回教員加配	9校

※第七小学校と大山小学校は2校で1名の加配教員の配置

※拠点校(中学校)2校に各1名配置の加配教員が全中学校を巡回

各種支援員の配置

支援員名	学校数
スクール・サポート・スタッフ	28校
副校長補佐	16校
エデュケーション・アシスタント	19校

# 教育委員会施策の点検・評価表

< 第4次学校教育振興基本計画（第4次特別支援教育実施計画） >

施策	5	連続性のある多様な学びの場と支援の充実	担当課	教育支援課
----	---	---------------------	-----	-------

## 1 目的

目的	障害の有無に関わらず、共に学び合い理解し合うことを追求しつつ、連続性のある多様な学びの場を用意し、合理的配慮の下、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、安全・安心な学校生活を送ることができる環境整備や体制づくりを推進します。
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員や介助員の配置、医療的ケアに関する対応等、一人ひとりの教育的ニーズに応じた環境整備や体制づくりを推進します。</li> <li>・市内小学校では3校目、市内中学校では初めてとなる自閉症・情緒障害特別支援学級を令和8年4月に第六小学校及び立川第四中学校に開設します。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害による生活や学習上の支援を必要とする児童・生徒に対し、指導員や介助員等を適切に配置するとともに、日常的に医療的ケアが必要な児童に対し、看護師を派遣し、医療的ケアを実施しました。</li> <li>・自閉症・情緒障害特別支援学級の開設に向けて必要な改修工事や備品・消耗品等の調達を行うとともに、開設準備検討委員会等において、指導内容や学級運営等について検討を進めました。また、近隣市等の中学校自閉症・情緒特別支援学級の視察を行い、調査・研究を進めました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員や介助員等の配置など、支援体制を整備することで、障害のある児童・生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる環境整備につながりました。</li> <li>・令和8年4月1日に第六小学校及び立川第四中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を開設し、多様な学びの場を用意することができました。</li> </ul>
課題	令和8年度に開設した自閉症・情緒障害特別支援学級については、引き続き、学級運営等についてサポートをしていく必要があります。また、通常の学級を含め、障害のある児童・生徒の状態は多様化しているため、専門家の助言等を求めやすい仕組みを整備する必要があります。

## 4 評価

評価	B	評価理由	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
		自閉症・情緒障害特別支援学級を第六小学校及び、立川第四中学校に開設したことで、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場を用意することができました。しかし、成果指標としている「特別支援教室に入室した児童・生徒のうち、個々に設定した目標を達成し、通常の学級のみで学校生活を送れるようになった児童・生徒の割合」が目標値を下回る見込みのため、B評価としました。	B				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	第六小学校及び立川第四中学校に開設した自閉症・情緒障害特別支援学級は、開設初年度にあたって、引き続き、特別支援教育に造詣の深い専門家をアドバイザーとして派遣し、学級運営等についてサポートをしていきます。また、教育や心理の視点だけでなく、医療の視点からも専門家の助言を求めやすい仕組みを整備していきます。
---------	---

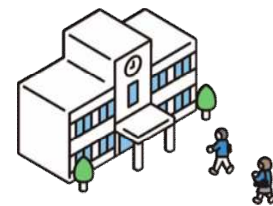
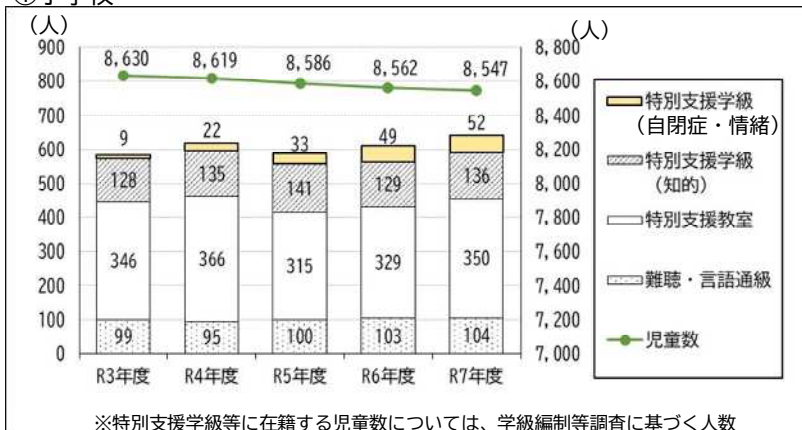
■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
特別支援教室に入室した児童・生徒のうち、個々に設定した目標を達成し、通常の学級のみで学校生活を送れるようになった児童・生徒の割合	17.9%	17.9% 以上	集計中	17.9% 以上

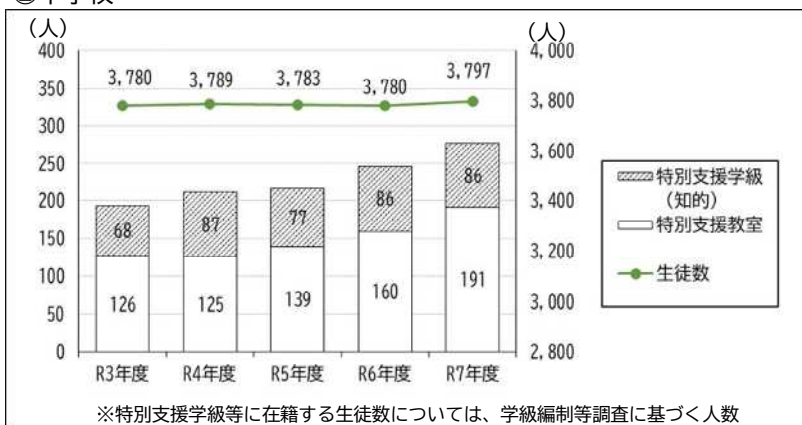
■令和7年度実績

(1)特別支援学級等に在籍する児童・生徒数の推移(各年5月1日現在)について

①小学校



②中学校

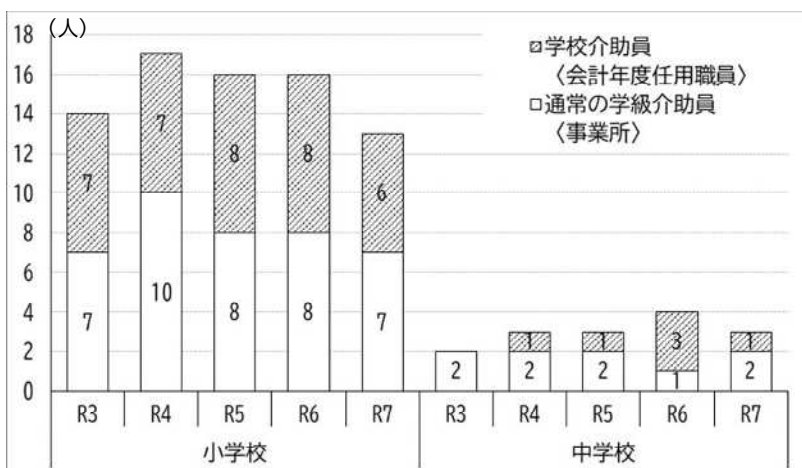


自閉症・情緒障害特別支援学級  
新設工事の様子



第六小学校

(2)学校介助員・通常の学級介助員の配置状況



立川第四中学校

# 教育委員会施策の点検・評価表

< 第4次学校教育振興基本計画（第4次特別支援教育実施計画） >

施策	6	学校における指導の充実	担当課	教育支援課
----	---	-------------	-----	-------

## 1 目的

目的	充実した教職員研修や児童・生徒一人ひとりに応じた計画の作成、保護者・地域への理解啓発を通し、指導の充実を推進します。
----	--

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する教職員研修の開催や専門家の派遣等を通して、教職員の専門性の向上及び、校内の特別支援教育実施体制を支援します。</li> <li>・学校生活支援シートに基づく、児童・生徒一人ひとりに応じた指導・支援につなげます。</li> </ul>
------	--

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員を対象とした各種研修会の開催や、特別支援学校のセンター的機能を活用した事例普及のための成果発表会を行いました。</li> <li>・教育支援相談員が学校で開催される支援会議や、特別支援教室等を訪問し、教職員等に対して助言を行いました。また、特別支援学級や通級指導学級、特別支援教室で開催する研修会等に各校からの依頼に応じて、医師や心理師、教育等の専門家を派遣しました。</li> <li>・就学支援シートを活用した学校生活支援シートの作成方法等に関する資料を作成し、校長会等を通じて周知しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のニーズに応じた研修を設定したことにより、研修終了後のアンケートで「専門性が向上した」と肯定的な回答した教職員の割合は100%となりました。</li> <li>・専門家の派遣等により、教職員の専門性の向上や、校内の特別支援教育実施体制の支援につながりました。</li> <li>・就学支援シートと学校生活支援シートの関連付けを明確にしたことで、情報の適切な引継ぎにつながりました。</li> </ul>
課題	通常の学級を含め、障害のある児童・生徒の状態は多様化していることから、すべての教職員が特別支援教育に関する専門性等を高めていく必要があるが、業務多忙のなか、研修時間等を増やしていくことが難しく、効果的・効率的な取組の工夫が必要となっています。

## 4 評価

評価	A	評価理由	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
		外部人材の活用や関係機関との連携等により、教職員の専門性の向上及び、校内の特別支援教育実施体制の支援につながりました。また、成果指標としている「都立特別支援学校と連携した小中学校への指導・支援の件数」は着実に進み、目標値を達成していることから、A評価としました。	A				

## 5 次年度の方向性

次年度の方向性	引き続き、教職員研修の開催や、専門家の派遣等に取り組み、教職員の専門性の向上及び校内の特別支援教育実施体制を支援します。また、特別支援教育について、保護者や地域等に向けた理解啓発に取り組みます。
---------	---

■指標

指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年度)
都立特別支援学校と連携した小中学校への指導・支援の件数	35件	38件	39件	50件

■令和7年度実績

● 特別支援学級臨時指導員・学校介助員合同連絡会

実施日	内容	講師
6月11日	ゲートキーパーについて	健康推進課保健事業係長
	人権に配慮した支援について	教育委員会統括指導主事
	将来を見据えた支援について	教育支援相談員

● 専門性向上プラン・特別支援教育担当教員研修

実施日	内容	講師
5月16日	校内委員会における校内支援の仕組みの構築	明星大学客員教授 菅原 真弓 先生
6月12日	教育と医療との連携	さいわいこどもクリニック理事長 宮田 章子 先生
9月18日	学校教育における心理検査の活用	武蔵野大学 講師 金山 裕介 先生

● 専門性向上プラン・都立特別支援学校のセンター的機能を活用した研修

実施日	内容	学校・学級
10月31日	公開研究授業	松中小学校 まつのみ学級

● 支援会議の実施

内容	小学校	中学校	計(回)
対象児童・生徒に関する情報交換・共有 学校生活支援シート、個別指導計画の確認・共有	39	11	50

● 特別支援教室公開授業

内容	小学校	中学校	計(回)
授業観察、協議会	8	3	11

● 特別支援教室訪問による指導・助言

内容	小学校	中学校	計(回)
個別指導計画、個別支援計画、指導記録、学習指導案、拠点校の巡回指導計画の確認、授業観察・協議、施設見学、運営及び児童・生徒の様子等の情報交換 等	11	3	14



都立特別支援学校のセンター的機能を活用した研修

# 教育委員会施策の点検・評価表

< 第4次学校教育振興基本計画（第4次特別支援教育実施計画） >

施策	7	相談・連携体制の充実	担当課	教育支援課
----	---	------------	-----	-------

## 1 目的

目的	就学時から中学校卒業後の進路までを見据えた相談や教育上の悩みに対する専門的な相談の充実とともに、関係機関と連携の充実を推進します。
----	---

## 2 当該年度の達成目標

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育や心理の専門家を相談員として配置し、就学相談を実施します。</li> <li>・就学前機関での子どもの様子や支援方法、保護者の不安事等を小学校等へ円滑に引き継げるよう、引継ぎ方法等について研究・検討を進めます。</li> <li>・心理の専門家を相談員として配置し、教育相談を実施します。</li> </ul>
------	---

## 3 取組状況と結果と課題

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員が学校・関係機関との連携を図りながら、就学時にとどまらず、中学校卒業後の進路までを見据えた情報提供や支援内容の提案を行いました。</li> <li>・他市の就学支援シートの調査・研究や、校長会・特別支援教育連絡会での意見交換等を参考に、就学支援シートの様式を見直しました。</li> <li>・相談員が学校や関係機関と連携を図りながら、子どもの発達や学校生活に対して、カウンセリングや遊戯療法等による継続的な支援を実施しました。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に関する子どもや保護者の不安軽減につながるるとともに、児童・生徒一人ひとりの障害の程度や、教育的ニーズに応じた就学・転学先の検討及び決定につなげることができました。</li> <li>・就学支援シート様式の見直しにより、保護者にとって、記載が簡単でわかりやすくなるるとともに、学校にとっても学校生活支援シートへの情報の引継ぎにつながりました。</li> <li>・子どもや保護者の不安や困り感の軽減につながるるとともに、状況に応じた適切な支援や対応につなげることができました。</li> </ul>
課題	子どもや保護者の不安や悩みの解消につなげていくために、切れ目のない相談機能の充実に取り組むとともに、関係機関との連携体制を充実させていく必要があります。

## 4 評価

評価	評価理由	関係機関との連携を図りながら、適切に就学相談や教育相談を実施するとともに、就学支援シートの見直しにより、就学先への情報の引継ぎの充実につながりました。また、成果指標としている「就学相談で就学先に関する不安や悩みの解消につながった保護者の割合」は、●%であることから、●評価としました。	参考				
			7年度	8年度	9年度	10年度	11年度

## 5 次年度の方向性

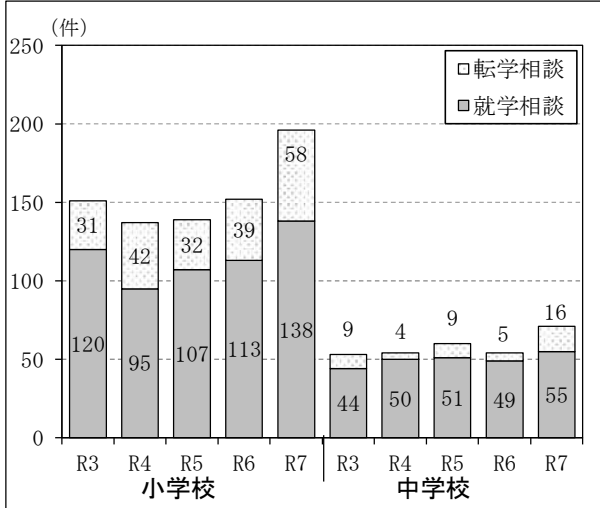
次年度の方向性	引き続き、子どもや保護者の不安や悩みの解消につなげていくために、切れ目のない就学相談・教育相談機能の充実に取り組むとともに、医療や福祉等、多様な関係機関との連携体制を充実させていきます。
---------	---

■指標

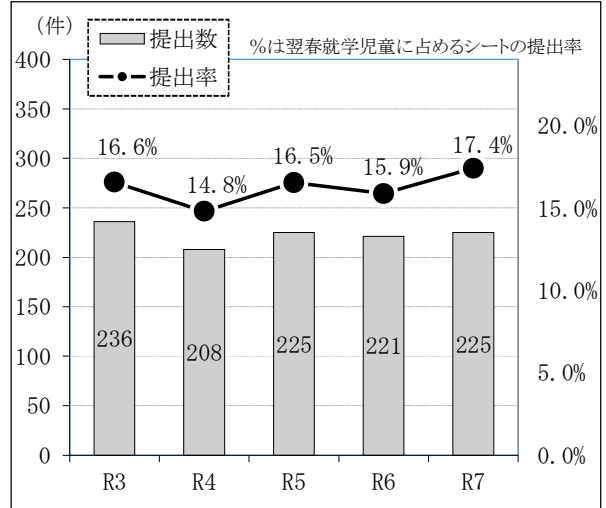
指標	基準値 (R5年度)	R7年度 (当初目標 値)	R7年度 (実績値)	計画 目標値 (R11年 度)
就学相談で就学先に関する不安や悩みの解消につながった保護者の割合	92.6%	93.0%	アンケート 実施中	95.0%

■令和7年度実績

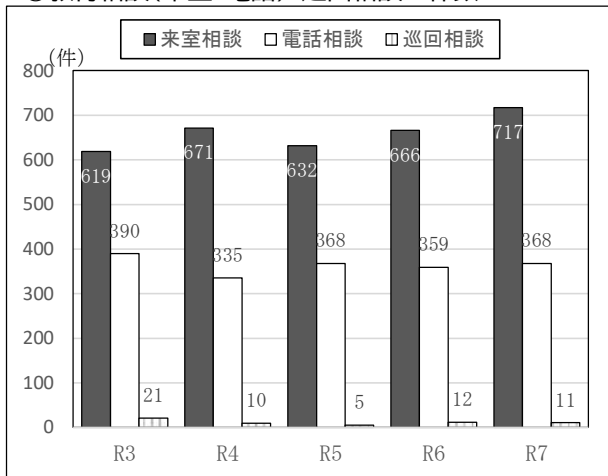
①就学相談・転学相談の件数



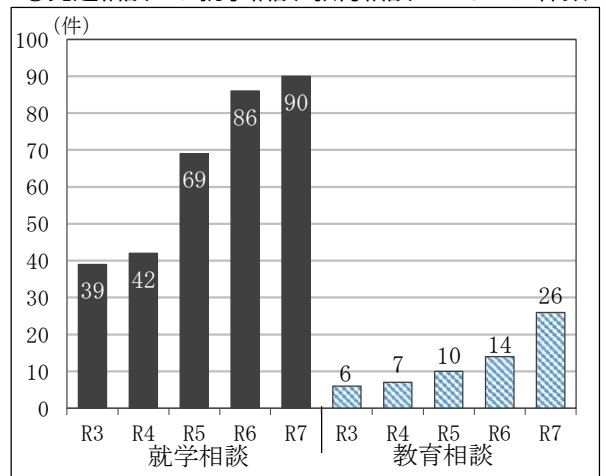
②「就学支援シート」による小学校への接続について



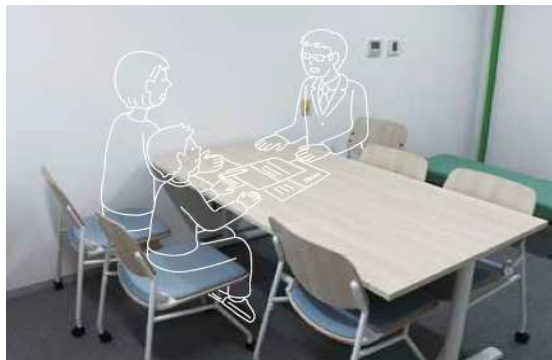
③教育相談(来室・電話)・巡回相談の件数



④発達相談から就学相談・教育相談につないだ件数



●立川市子育て支援・保健センター「はぐくるりん」内 相談室●





### Ⅲ 参 考 资 料

## 教育委員会活動の実績について

### 教育委員会の開催状況

会議名	実施回数	案件			
		請願	議案	協議	報告
定例会	24回	1件	47件	22件	50件
臨時会	0回	0件	0件	0件	0件

### 教育委員会での主な案件

実施日	会議名	案件
令和7年4月25日(金)	定例会	長期欠席児童・生徒への給食提供の本格実施について
令和7年5月12日(月)	定例会	立川市立第三小学校の不審者対応について
令和7年6月27日(金)	定例会	立川市教育委員会の教育目標(案) 立川市第4次学校教育振興基本計画(案) 立川市第4次特別支援教育実施計画(案) 立川市第7次生涯学習推進計画(案) 立川市第4次図書館基本計画(案) 立川市第5次子ども読書活動推進計画(案)
令和7年7月14日(月)	定例会	学校給食における生分解性バイオポリマー製ストローの試行導入について
令和7年7月30日(水)	定例会	立川市中学生平和学習派遣事業について
令和7年9月25日(木)	定例会	立川市立第三小学校の事件を踏まえた不審者対策について
令和7年11月14日(金)	定例会	令和8年度立川市教育委員会学校教育の指針について
令和7年11月26日(水)	定例会	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の見直しについて
令和7年12月25日(木)	定例会	事業者通学路見守りボランティア事業の試行実施について
令和8年2月25日(水)	定例会	令和8年度予算案 教育部の主要施策の概要について

### 総合教育会議の開催状況

実施日	案件
第1回 令和7年5月12日(月)	(1) 立川市立第三小学校の不審者対応について
	(2) 教育に関する大綱について
	(3) 学校施設を活用した子どもの居場所づくりについて
第2回 令和7年10月23日(木)	(1) ヤングケアラー支援について
	(2) 立川市・大野市中学生交流事業「中学生サミット」について
第3回 令和8年1月23日(金)	(1) 市長部局による学校でのいじめ防止の取組について(案)
	(2) 令和8年度学校教育の主な取組について



第2回総合教育会議(令和7年10月23日)